

1 青森県の推計人口（平成17年3月1日現在）…………… 1

県人口	1,448,216人	（対前月 729人減少、対前年同月 9,943人減少）
自然動態	339人減少	（出生者数 849人、死亡者数 1,188人）
社会動態	390人減少	（転入者数 1,233人、転出者数 1,623人）

2 本県の経済動向

(1) 経済概況

本県経済の動向は、鉱工業生産が増加したものの、雇用情勢は厳しく、需要も依然として低迷していることから、全体として厳しい状態にある。

(2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 製造業の生産動向 …… 2
 平成17年1月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が91.2で、前月比8.6%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は80.2で、前年同月比3.8%の上昇となり、2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。
 （化学工業を除いた指数では、季節調整済指数が91.6で、前月比4.6%の上昇（2ヶ月ぶり）、原指数が79.6で、前年同月比0.1%の上昇（2ヶ月ぶり）となった。）
- (2-2) 雇用情勢 …… 3
 平成17年1月の現金給与総額は246,130円で前年同月比5.1%減となった。このうち、定期給与は234,739円で0.4%増となった。総実労働時間は、148.5時間で前年同月比1.1%減となり、所定外労働時間では9.4時間で前年同月比3.3%増となった。
 平成17年2月の有効求人倍率は0.39倍で、前月を0.02ポイント下回った。
 なお、新規高卒者の2月末現在の求人倍率は全体で0.98倍、県内では0.72倍となっており、いずれも過去10年で最も低くなっている。
- (2-3) 物価 …… 4
 平成17年2月の青森県消費者物価指数は、98.9となり、前月と比べ0.2%の下落、前年同月と比べ0.6%の下落となった。
- (2-4) 個人消費 …… 5
 平成17年1月の大型小売店販売額は、全店舗ベースで前年同月比4.7%減の175億3千4百万円となり、既存店ベースでも前年同月比5.4%減となった。
 平成17年2月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,759台で、前年同月比4.2%の減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。
- (2-5) 住宅建設 …… 6
 平成17年2月の新設住宅着工戸数は269戸で、前年同月比19.9%減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。
- (2-6) 公共投資 …… 6
 平成17年2月の公共工事請負金額は、前年同月比3.8%減となった。

(3) 景気動向指数（平成17年1月分）…………… 7

先行指数	66.7%	（2か月連続で50%を上回った）
一致指数	77.8%	（2か月連続で50%を上回った）
遅行指数	83.3%	（5か月連続で50%を上回った）

1 青森県の推計人口（平成17年3月1日現在）

【概況】

平成17年3月1日現在の本県推計人口は、1,448,216人で、前月に比べ729人の減少、前年同月に比べると9,943人の減少となった。

○自然動態

出生者数が849人、死亡者数が1,188人で、339人の減少となった。

○社会動態

転入者数が1,233人、転出者数が1,623人で、390人の減少となった。

総人口の推移

(単位:人)

	総数	対前月増減率		増減数	自然増減数	出生者数	死亡者数	社会増減数	県外からの転入者数	県外への転出者数	
		男	女								
昭45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	
16. 3. 1	1,458,159	692,330	765,829	-0.051%	-738	-296	912	1,208	-442	1,252	1,694
16. 4. 1	1,452,455	688,993	763,462	-0.391%	-5,704	-243	1,036	1,279	-5,461	4,532	9,993
16. 5. 1	1,453,207	689,495	763,712	0.052%	752	-160	999	1,159	912	4,749	3,837
16. 6. 1	1,452,844	689,216	763,628	-0.025%	-363	-242	942	1,184	-121	1,555	1,676
16. 7. 1	1,452,449	688,905	763,544	-0.027%	-395	-79	985	1,064	-316	1,413	1,729
16. 8. 1	1,451,562	688,424	763,138	-0.061%	-887	-134	993	1,127	-753	1,921	2,674
16. 9. 1	1,451,461	688,505	762,956	-0.007%	-101	-249	1,008	1,257	148	2,449	2,301
16.10.1	1,450,947	688,209	762,738	-0.035%	-514	-120	986	1,106	-394	1,618	2,012
16.11.1	1,450,734	688,048	762,686	-0.015%	-213	-258	911	1,169	45	1,791	1,746
16.12.1	1,450,219	687,716	762,503	-0.035%	-515	-300	965	1,265	-215	1,431	1,646
17. 1. 1	1,449,732	687,374	762,358	-0.034%	-487	-343	879	1,222	-144	1,275	1,419
17. 2. 1	1,448,945	686,936	762,009	-0.054%	-787	-507	913	1,420	-280	1,237	1,517
17. 3. 1	1,448,216	686,552	761,664	-0.050%	-729	-339	849	1,188	-390	1,233	1,623

2月中の人口動態の推移

(単位:人)

年月		平8.2	9.2	10.2	11.2	12.2	13.2	14.2	15.2	16.2	17.2
自然動態	出生者数	1,075	996	1,010	949	980	963	915	904	912	849
	死亡者数	1,067	986	1,101	1,248	1,205	1,037	1,061	1,270	1,208	1,188
	自然増減数	8	10	-91	-299	-225	-74	-146	-366	-296	-339
社会動態	県外からの転入者数	1,533	1,561	1,576	1,493	1,455	1,390	1,450	1,374	1,252	1,233
	県外への転出者数	1,696	1,784	1,656	1,488	1,630	1,807	1,951	1,876	1,694	1,623
	社会増減数	-163	-223	-80	5	-175	-417	-501	-502	-442	-390

※1 平成2、7、12年は国勢調査による数値。

※2 平成16年3月1日から平成17年3月1日までの人口は平成12年国勢調査人口(確定値)を基礎に推計している。

※3 増減数は、平成2、7、12年が前回、その他が前月に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口＝前月の人口＋自然増減数(出生者数－死亡者数)＋社会増減数(県外からの転入者数－県外への転出者数)

※5 これまで社会動態の算定には、県間移動数に加え県内市町村間移動数も含めていたが、県内市町村間移動者数を含め

ないこととし修正を行なったことから、過去の公表数値と異なっている。

※6 県の推計人口には、県内市町村間の移動者数を含んでいない為、各市町村の推計人口の総計とは一致しない。

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

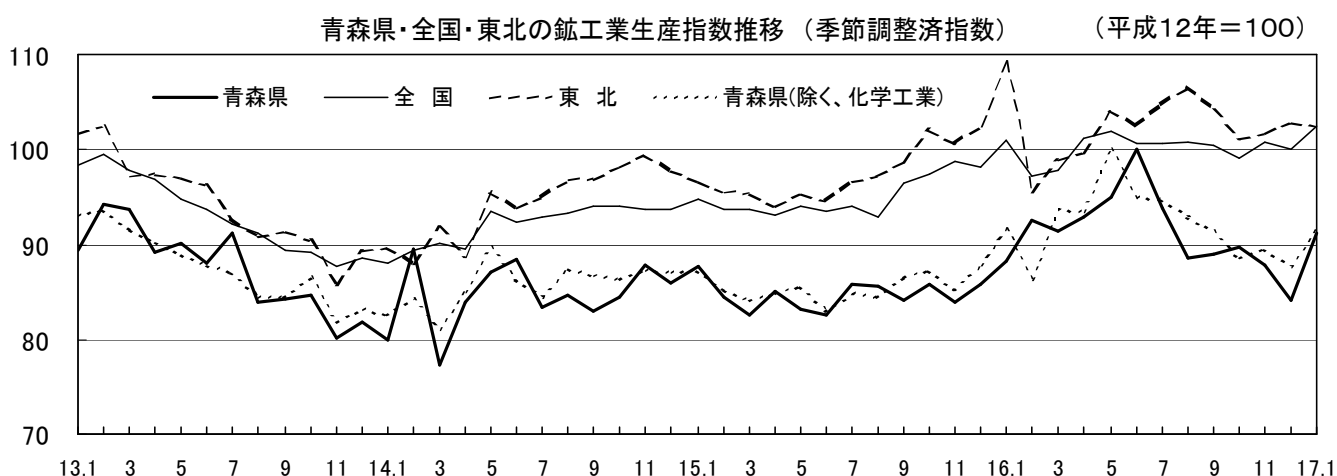
(2-1) 製造業の生産

平成17年1月の青森県鉱工業生産指数(平成12年=100)は、季節調整済指数が91.2で、前月比8.6%の上昇となり、3ヶ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は80.2で、前年同月比3.8%の上昇となり、2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、化学工業、金属製品工業、電気機械工業などが上昇に寄与した一方、一般機械工業、石油・石炭製品工業、情報通信機械工業などが低下し、鉱工業全体では8.6%の上昇となった。

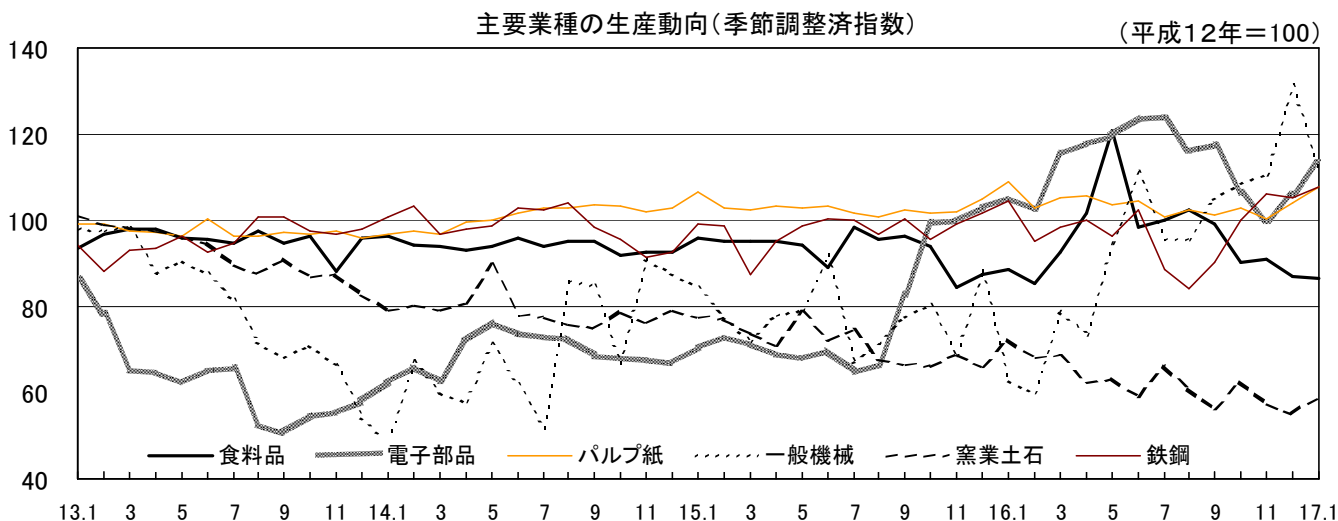
(化学工業を除いた指数について)

季節調整済指数が91.6で、前月比4.6%の上昇(2ヶ月ぶり)、原指数が79.6で、前年同月比0.1%の上昇(2ヶ月ぶり)となった。



◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 +8.6%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
化学工業	324.3	43.4	一般機械工業	-15.3	-20.4
金属製品工業	61.1	27.7	石油・石炭製品工業	-83.6	-6.8
電気機械工業	32.5	25.5	情報通信機械工業	-57.0	-5.4
電子部品・デバイス工業	6.7	14.2	木材・木製品工業	-16.1	-4.0
精密機械工業	12.6	6.0	家具工業	-28.5	-2.0



資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

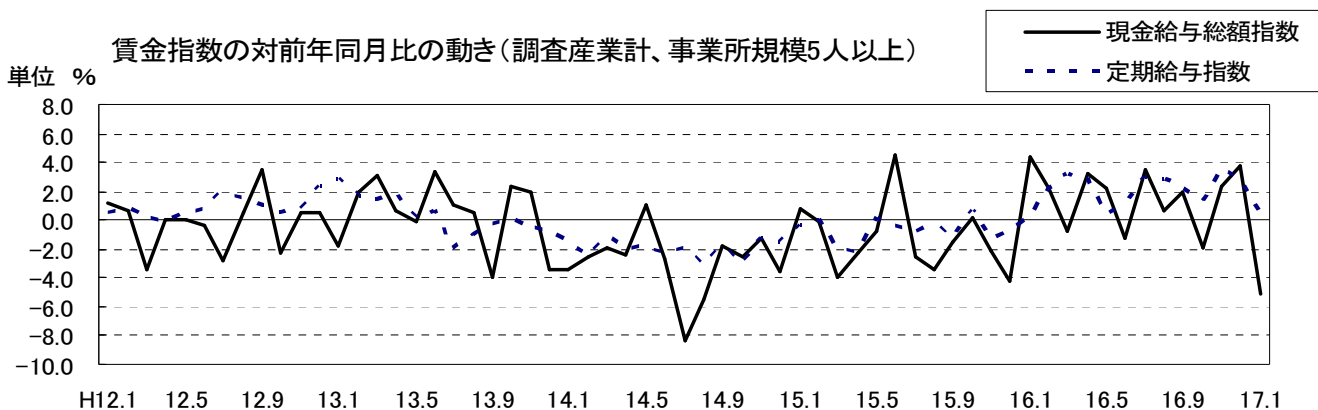
(2-2) 雇用情勢

平成17年1月の現金給与総額は246,130円で現金給与総額指数(平成12年=100)では85.3となり、前年同月比5.1%減となった。このうち、定期給与は234,739円で定期給与指数では98.9となり、前年同月比0.4%増となった。実額で比較した定期給与の全国対比は87.0となった。

所定外労働時間は9.4時間で、所定外労働時間指数では109.3となり、前年同月比3.3%増となった。

平成17年2月の有効求人倍率は0.39倍(季節調整済値)で、前月を0.02ポイント下回った。

なお、新規高卒者の2月末現在の求人倍率は全体で0.98倍、県内では0.72倍となっており、いずれも過去10年で最も低くなっている。

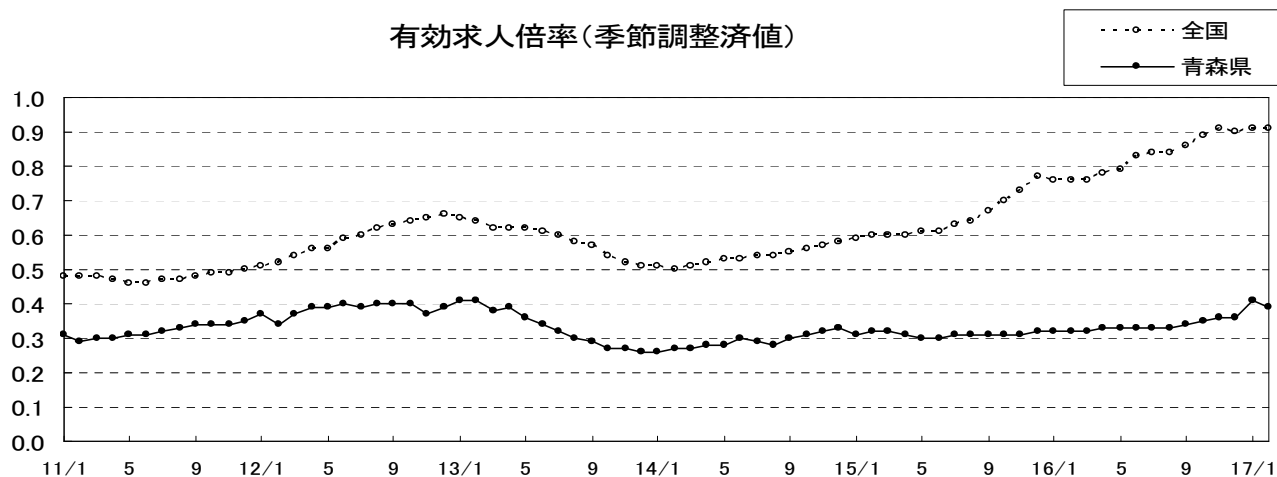


賃金及び労働時間の動き(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実数		指数(H12=100)		対前年同月増減率	
	県	全国	県	全国	県	全国
現金給与総額	246,130 円	284,507 円	85.3	80.5	-5.1 %	0.2 %
定期給与	234,739 円	269,796 円	98.9	95.7	0.4 %	-0.2 %
特別給与	11,391 円	14,711 円	—	—	—	—
総実労働時間	148.5 時間	140.3 時間	93.8	91.2	-1.1 %	0.0 %
所定内労働時間	139.1 時間	130.2 時間	92.8	90.4	-1.4 %	-0.2 %
所定外労働時間	9.4 時間	10.1 時間	109.3	103.1	3.3 %	2.1 %

(注) 1.定期給与とは「きまって支給する給与」のことである。
2.前年同月比は指数によって算出している。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」



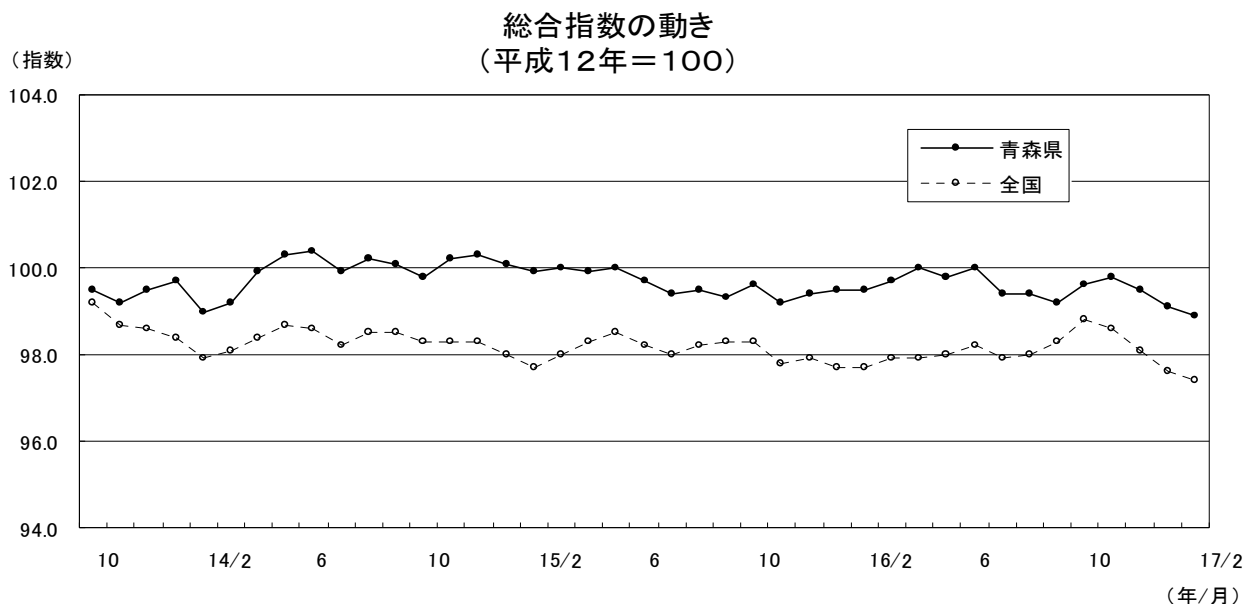
資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」

(2-3) 物価

平成17年2月の青森県消費者物価指数は、平成12年を100とした総合指数で98.9となり、前月と比べ0.2%の下落、前年同月と比べ0.6%の下落となった。

前月比が0.2%の下落となった内訳をみると、食料（生鮮野菜、生鮮魚介）、被服及び履物（衣料）、などの下落が要因となっている。

前年同月比が0.6%の下落となった内訳をみると、食料（生鮮野菜）、被服及び履物（衣料）などの下落が要因となっている。



10大費目別指数の動き

(平成12年=100)

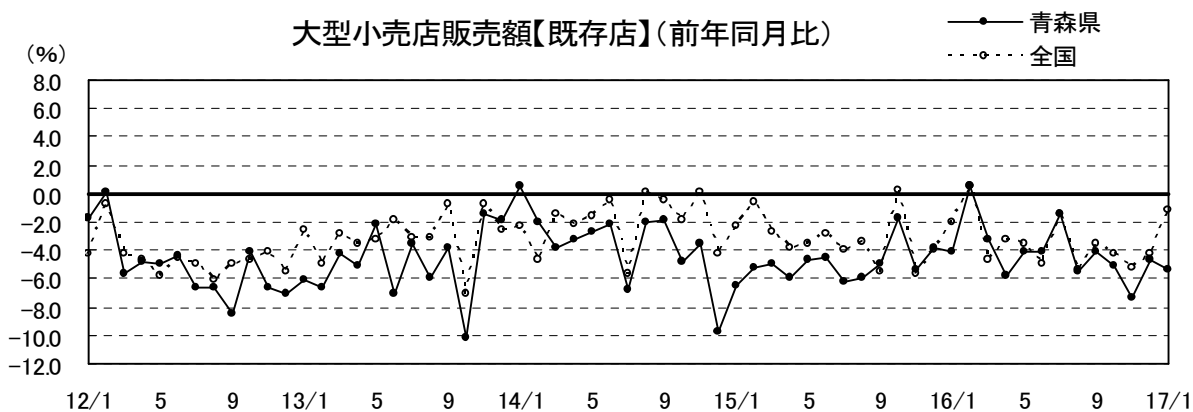
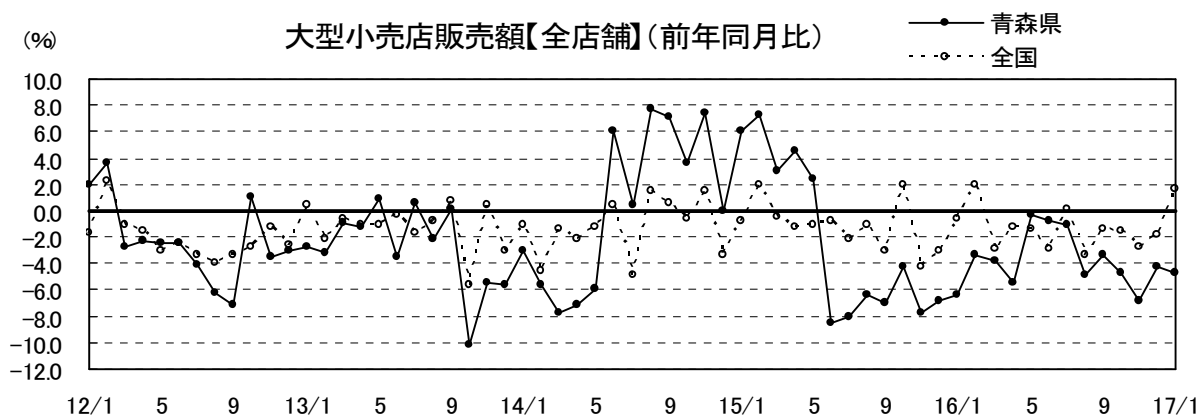
	総合	総合 (持ち家の 帰属家賃を 除く)		食料	生鮮 食品	住居	光熱・ 水道	家具 ・家事 用品	被服 及び 履き物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費
		総合 (生鮮 食品を 除く)												
当月指数	98.9	97.5	98.7	100.1	101.4	105.7	101.7	88.1	87.0	105.4	95.6	106.2	88.4	103.1
前月比	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 2.4	0.1	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 2.6	0.1	▲ 0.4	0.0	▲ 0.3	0.1
前年同月比	▲ 0.6	▲ 0.7	▲ 0.6	▲ 1.0	▲ 1.4	0.5	2.3	▲ 3.7	▲ 5.4	▲ 2.1	▲ 0.5	5.3	▲ 1.7	▲ 0.6

資料：県統計分析課「青森県消費者物価指数月報」(速報)

(2-4) 個人消費

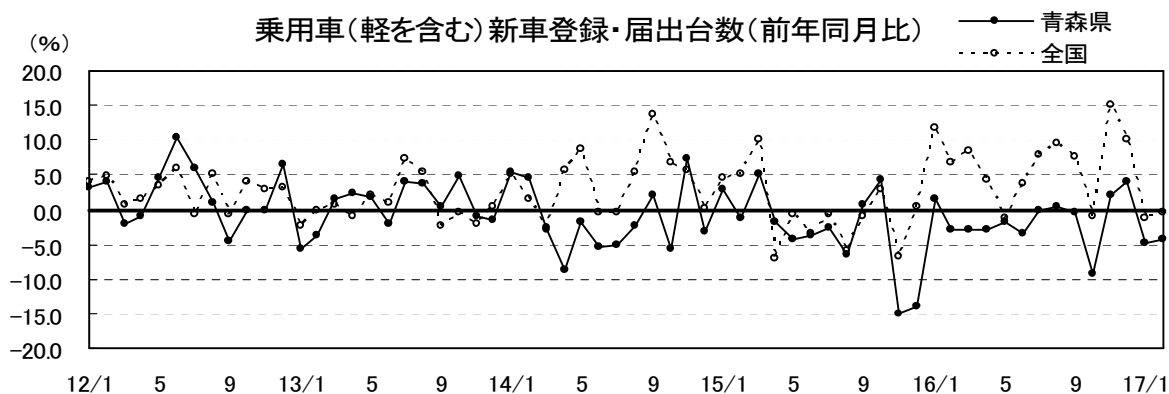
平成17年1月の大型小売店販売額は、全店舗ベースで前年同月比4.7%減の175億3千4百万円で20ヶ月連続のマイナスとなり、既存店ベースでも前年同月比5.4%減と11ヶ月連続でマイナスとなった。要因としては、百貨店、スーパーとも、販売額の大きい衣料品・飲食料品がマイナスになったことによる。

平成17年2月の軽自動車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,759台で、小型乗用車が増加したものの、普通乗用車、軽自動車が増加したことにより、前年同月比4.2%減となり2ヶ月連続で前年を下回った。



資料：東北経済産業局「東北地域大型小売店販売額動向」

* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

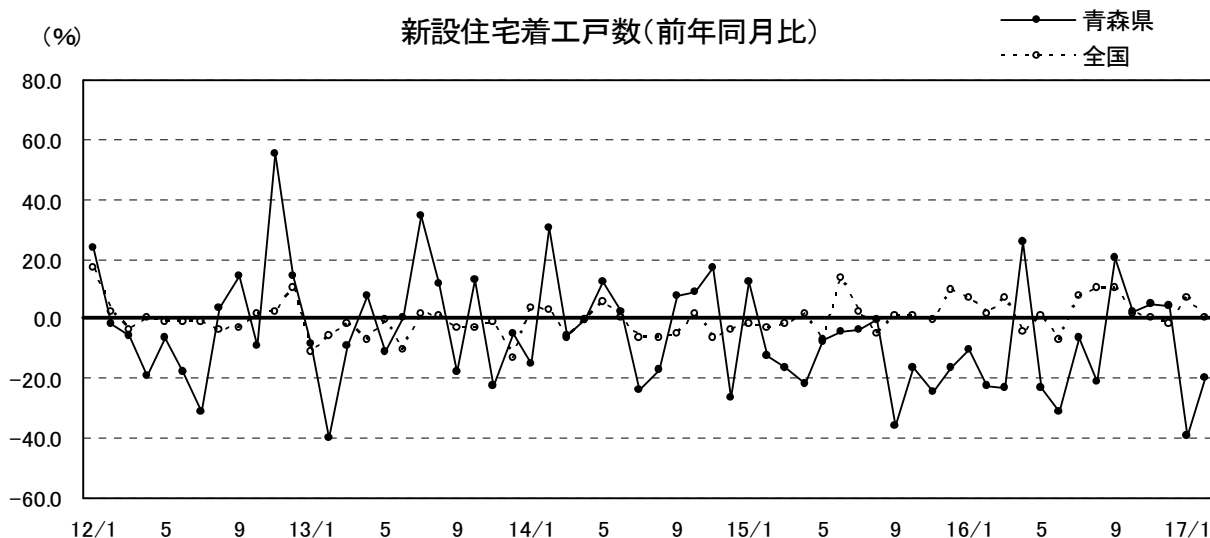


資料：青森県自動車会議所「車種別登録・届出台数」

日本自動車販売協会連合会「自動車統計データ」

(2-5) 住宅建設

平成17年2月の新設住宅着工戸数は269戸で、前年同月比19.9%減となり、2ヶ月連続で前年を下回った。

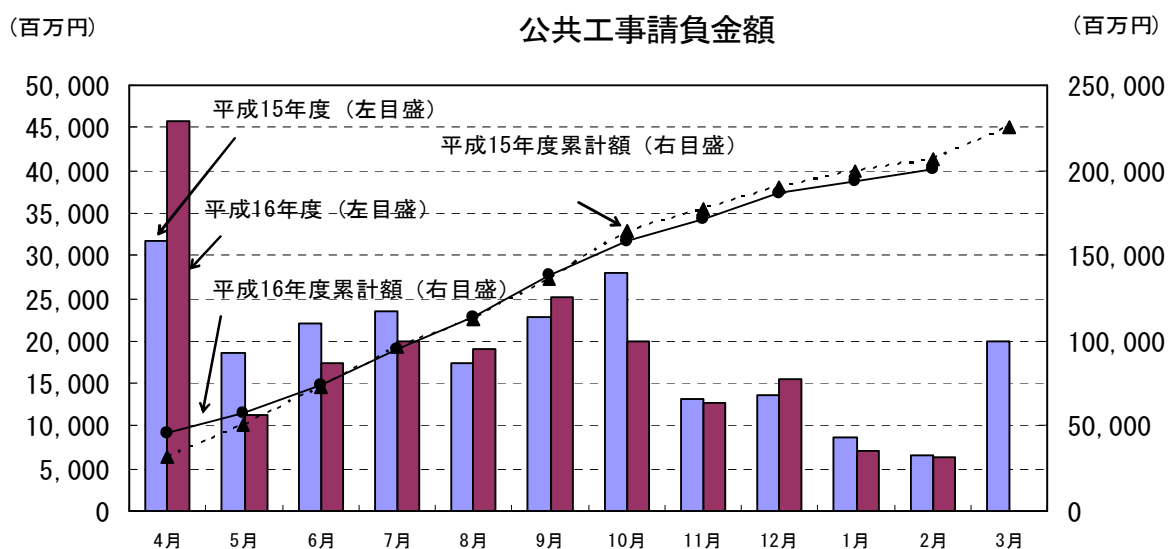


資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建設統計月報」

(2-6) 公共投資

平成17年2月の公共工事請負金額は、単月では64億3千万円で、前年同月比3.8%減となった。発注主体別では、国は同2.7%増、県は同39.6%減、市町村は同13.0%増となった。

また、4月からの累計は、2,003億円、前年比2.8%減となった。



資料：東日本建設業保証(株)青森支店「青森県内の公共工事の動向」

(3) 青森県景気動向指数

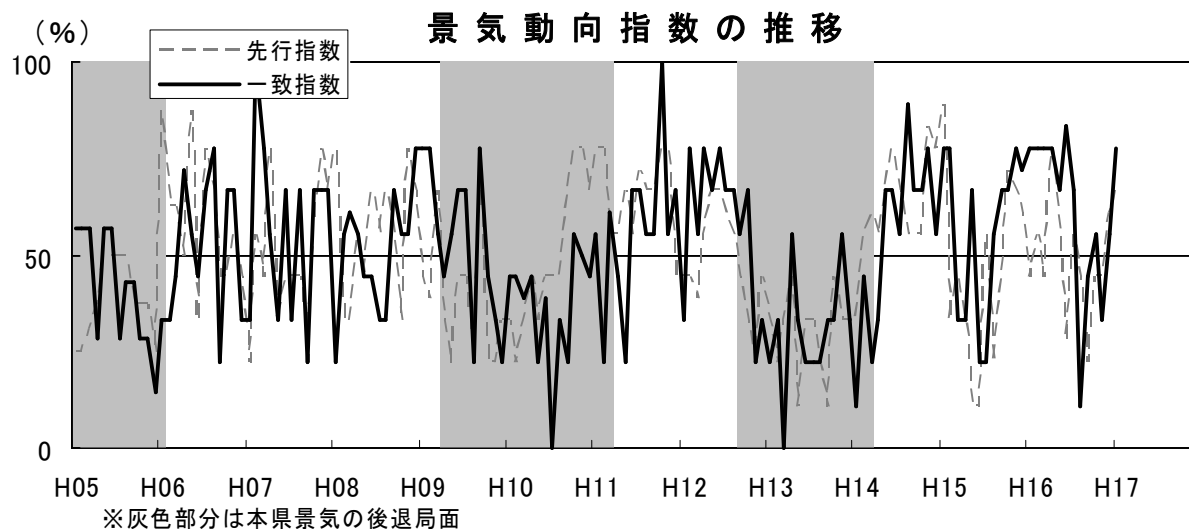
平成17年1月の青森県景気動向指数は、先行指数66.7%、一致指数77.8%、遅行指数83.3%となった。

先行指数は、2か月連続で50%を上回った。

一致指数は、2か月連続で50%を上回った。

遅行指数は、5か月連続で50%を上回った。

1月の一致指数は、生産関連、雇用関連の指標等がプラスとなったことから、50%を上回った。



●個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、5ヶ月前と比較しています）

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列（9指標中6指標がプラス）			
新規求人倍率（全数）	4か月連続	入職率（製造業）	2か月ぶり
建築着工床面積（鉱+商+サ）	2か月連続	中小企業景況D I	3か月ぶり
企業倒産負債額	2か月連続	新設住宅着工床面積	4か月ぶり
乗用車新車登録届出台数	2か月ぶり		
生産財生産指数	3か月ぶり		
所定外労働時間指数（全産業）	8か月ぶり		
一致系列（9指標中7指標がプラス）			
有効求人数（全数）	17か月連続	総実労働時間数（全産業）	3か月連続
東北自動車道IC利用台数	5か月連続	海上出入貨物量（八戸港）	2か月ぶり
日銀券月中発行高	3か月連続		
大口電力使用量	2か月連続		
電気機械生産指数	3か月ぶり		
大型小売店販売額（既存店）	4か月ぶり		
鉱工業生産指数	6か月ぶり		
遅行系列（6指標中5指標がプラス）			
常用雇用指数（製造業）	5か月連続	単位労働コスト（製造業）	7か月ぶり
輸入通関実績（八戸港）	5か月連続		
青森市消費者物価指数（帰属家賃除く）	4か月連続		
勤労者世帯家計消費支出（実質）	2か月ぶり		
1人平均月間現金給与総額	2か月ぶり		

※1 採用系列の改訂を行った。

※2 年間補正、季節調整替え等により遡及改訂を行った。

資料：県統計分析課「青森県景気動向指数月報」